

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	百貨店（企画担当） 乗用車販売店（従業員） 旅行代理店（従業員） 旅行代理店（従業員） その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	・最大規模の店舗改装により、来客数が増え消費の起爆剤になる。 ・月末から来客数が予想以上に増えている。新型車の発売もあるが、既存車種でも商談が増えてきている。 ・下取り車はバブル期のものが多く、耐用年数を超えていて、増税を見極めて買い替えを進めている。 ・個人旅行に動きが出てきており、見通しも前年よりも良い。 ・海外への個人のグループ旅行が発生している。 ・顧客の動きをみていると、2～3か月前には受注が有りそうである。
	変わらない	商店街（代表者） 商店街（代表者） 百貨店（売場主任） 百貨店（企画担当） 百貨店（企画担当） 百貨店（経理担当） 百貨店（販売促進担当） スーパー（店長） スーパー（店長） スーパー（店員） スーパー（店員） スーパー（仕入担当） コンビニ（経営者） コンビニ（エリア担当） コンビニ（エリア担当） 衣料品専門店（販売企画担当） 家電量販店（店長） 乗用車販売店（総務担当） その他小売〔総合衣料〕（店員） 一般レストラン（経営者） 一般レストラン（スタッフ） スナック（経営者） 観光型ホテル（スタッフ） 都市型ホテル（スタッフ） 旅行代理店（経営者） 通信会社（営業担当）	・季節商品が伸びず、定番商品しか売れない。 ・プラズマテレビの売上は伸びるが他商品はあまり期待できず、全体としては横ばいである。 ・以前はバーゲンでも繰り返し来店する客が多かったが、今はリピート客が減っている。 ・客単価の低下傾向は依然として続く。 ・各百貨店とも春の改装が進行中だが、パイの拡大はできず客の奪い合いが激しくなる。勝ち組と負け組の差が激しくなるのではないかと危くしている。 ・バーゲンなどでの客足は伸びるが、全体としての回復はまだ先である。 ・必要以上の物は購入しない傾向が続き、売上は伸び悩む。 ・単独店では仕入先問屋の倒産やメーカーによる販路の選定などにより仕入れが難しくなり、品ぞろえが狭められている。 ・自分に関心のある物、必要な物は積極的に買うが、無駄になりそうなもの、必要以外の物には見向きもしない状況は続く。 ・消費者の財布のひもは依然として固い。 ・客の買控え傾向が続いている。 ・年末は商品の動きが良かったが、競合店の進出の話もありまだまだ予断を許さない。 ・同業者がまた2件廃業している。競争相手が減るプラスと景気が悪くなるマイナスとで経営は現状維持が精一杯である。 ・回復スピードは鈍く、客単価の低下、売上の前年割れ状況は今後も続く。 ・客数は戻ってきているが、競合店が営業時間や営業日数を増やしているため、厳しい状況はまだまだ続く。 ・物が動かない状況は続く。 ・冷蔵庫、大型テレビ等は買い増しよりも買い替えのほうが多い。新型パソコンも来客数は増加しているが購入は少なく、価格も低下している。 ・例年なら年度末は活況となるが、年末のボーナス商戦の状況から判断すると今年は盛り上がらない。 ・相変わらず倒産企業は増え、在庫等が市場に流出し単価が下がる傾向は続く。 ・コンビニが増えているため深夜飲食の客が減少している。 ・客単価が低下している。 ・客の間でリストラ、倒産などの話題がますます増えている。 ・花見期の宿泊、宴会予約が15～20%落ち込んでいる。 ・すべての面で前年を下回っている。 ・イラク情勢や北朝鮮問題等への不安で旅行控えが見られる。 ・携帯電話の契約は例年最も良くなる時期だが、飽和状態で前年程の盛り上がりはない。

		ゴルフ場（企画担当）	・例年来客数が増加する時期だが、昨年と比較して良くなる気配はみられない。飲食が減少しているため、来客数が増加しても厳しい。
		パチンコ店（経営者）	・客の可処分所得が増加しないため売上は増えない。
やや悪くなる		商店街（代表者）	・季節商品も売れなくなっており、消費者の自己防衛意識はますます強くなっている。
		商店街（代表者）	・競争相手が増えていることに加えて、安価な輸入品の扱いが増加し単価も低下しており、売上が減少している。
		百貨店（外商担当）	・消費者の所得増加が見込めないため高額商品の販売は難しく、売上の増加は見込めない。
		百貨店（売場担当）	・客の購買意欲は冷え込んできている。
		スーパー（経営者）	・地元企業の倒産やリストラもあり消費意欲は低下してきており、安い商品だけを買う状況にある。
		スーパー（店長）	・たばこ、発泡酒等の増税や消費税率の引き上げが懸念されており、消費はさらに落ち込む。
		スーパー（総務担当）	・来客数がいっこうに上向かず、昨年と比べて減少している。
		コンビニ（経営者）	・近隣にコンビニの競合店が進出する。
		コンビニ（エリア担当）	・競合店の進出が続いており、また高額ハイウェイカードの販売終了も影響してくる。
		コンビニ（エリア担当）	・他業種を含めて競合が激化する。
		家電量販店（経営者）	・前年と比べて売上は徐々に減少してきている。
		家電量販店（従業員）	・単価の低下傾向が根強く続いている。
		自動車備品販売店（経営者）	・ETC等の販売は伸び悩んでおり、また消耗品も価格に対する目が厳しいため、単価は伸びない。
		乗用車販売店（経営者）	・新型車の販売も一息つき、販売量は減少する。また他社で新型車が発売される。
		住関連専門店（営業担当）	・新築の減少とともに価格競争の激化はさらに進む。
		高級レストラン（経営者）	・大人数の宴会はますます減少する。
		旅行代理店（経営者）	・受注量に変化はないが、売上が前年を上回らない。オプション売上の減少や同業者との価格競争により単価が低下傾向にある。
		旅行代理店（従業員）	・旅館やテーマパークの閉鎖が続き、この先も厳しい。
		タクシー運転手	・昼の買物客、夜の飲食客などの動きが少し悪くなる。
		ゴルフ場（経営者）	・3か月先の予約は前年を下回っており、上昇する兆しが見えない。ゴルフクラブの買い替えも減ってきている。
	理美容室（経営者）	・来店客は減少する。	
悪くなる		コンビニ（店長）	・100円商品の売上が順調だが、他の商品も低単価傾向がますます強くなっている。
		一般レストラン（経営者）	・地元の老舗がまた一つ、また一つと閉店している。
		スナック（経営者）	・客からリストラや賃下げの話聞き、昨年以上に悪くなる。小さい店で人件費を減らして営業しようかと考えている。
		設計事務所（経営者）	・新規案件が出ていない。また既存案件も中止が増加している。
		設計事務所（職員）	・仕事の予約がなく建築事業だけではやっていけないため、介護系の事業へ手を広げるなどしている。
企業動向関連	良くなる		
	やや良くなる	輸送用機械器具製造業（統括）	・引き続き新型車の発売が計画されており期待できる。産業機械部門も最悪期は脱している。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・地域的には自動車関連が元気で大きな落ち込みはないが、新規の引き合いは少ない。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・現状の維持が精一杯である。
		一般機械器具製造業（販売担当）	・引き合い件数は相変わらず多く、受注率の低下傾向も変化がない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・輸出、国内販売とも増加する要素が見えてこない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・完全に横ばいで、需給のバランスが取れている状態である。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・忙しい状況は続くが、価格、利益については厳しい状態が続く。
		輸送用機械器具製造業（工務担当）	・生産予測は前年よりややよい状態を維持している。
	やや悪くなる	金属製品製造業（従業員）	・企業の設備投資は減少する。

		金属製品製造業（社員）	・仕事量が減っている。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・米国景気は悲観的に考えざるをえない。
		税理士	・建設関係は年末まで仕事が減少傾向にあったが、現在ではまったくないという状況にまできている。製造業も仕事が減っている企業が増えており、全体的に売上、受注量は減少している。
	悪くなる	非鉄金属製品製造業【鋳物】（経営企画）	・引き続き厳しく、引き合いも減少している。
		経営コンサルタント	・倉庫の賃料が暴落している。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	新聞社【求人広告】（担当者）	・自動車関連の好調が続けば、介護福祉、建設関係のパート、アルバイトも期待できる。
		職業安定所（職員）	・東海環状自動車道の建設が地域経済の悪化を防いでいるなか、自動車販売、製造関連の新規求人増加の芽がある。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・各企業とも年度末の派遣需要は必要最低限である。
		人材派遣会社（社員）	・派遣料金の値下げ圧力は続いているが、受注は前年並みに回復してきている。
		人材派遣会社（社員）	・新年度に向けた投資への派遣需要が見込まれるはずだが、動きが見えにくい。
		新聞社【求人広告】（担当者）	・技術職や技能工、看護師、薬剤師等の専門職、営業職は好調だが、流通、小売業界では人件費の圧縮が続いている。
		職業安定所（所長）	・求人の増加と求職者の減少が続いていく。
		職業安定所（職員）	・増加している求人は請負と派遣がほとんどである。
		職業安定所（管理部門担当）	・求人数はやや増加しているものの求職者数も増加しており、雇用のミスマッチが多く見られる。
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・取引先企業はどこも業績が悪化している。
		人材派遣会社（営業担当）	・取引先企業からはリストラによる社員の再就職支援等の案件もよくある。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・これまで採用者数を増やしていた自動車やIT関連が徐々に減少に転じ、これに代わる業種も現れない。
		求人情報誌製作会社（企画担当）	・リストラを進めている企業の大半は年度末にタイミングを設定しており、求職者は増加する。
		職業安定所（職員）	・企業の人員整理は落ち着きを見せ、やや減少傾向にある。しかし今後は不良債権処理が進む影響で労働市場は厳しさを増す。 ・雇用形態は、サービス業を中心にパートが拡大している。中小企業における正社員のリストラは避けられない。
		職業安定所（職員）	・大手銀行の不良債権処理に伴い、早期退職者の募集や倒産は増加傾向にあるため、求職者は増加する。
		民間職業紹介機関（経営者）	・採用者数はさらに減少する。
悪くなる	-	-	